

# Machinery & Systems

機械・システム事業本部

高い製品力に加え、  
ライフサイクル全てに  
対応できる体制を整え、  
世界中の多様なニーズに  
応えていきます。

取締役 常務執行役員  
機械・システム事業本部長  
菫田 慎介



## 中長期的発展に向けたアクションプラン

### 01.省エネ・環境対応技術による差別化

- ① 船用ディーゼルエンジンの燃料多様化(天然ガス、エタン、メタノール等)
- ② 船用主機用排熱回収装置(THS)等キーコンポーネント(部品)事業の育成・拡大

### 02.グローバル事業体制の構築

- ① ベトナムに現地企業とプロセス機器製造の合併会社設立
- ② MES Asia(シンガポール)に運搬機営業の機能を設置

### 03.事業参画、周辺サービス事業の拡大

- ① テクノサービス事業の海外拠点拡充・強化
- ② クレーン周辺サービス事業の拡充とターミナル事業への参入

## Action

### 事業環境と実績

#### 各種施策が順調に進展

船用ディーゼル機関は、環境面に優れるガス焼き機関の商談が増えており、当期において天然ガス焼き6基及びエタンガス焼き3基を受注するなど、受注高は前期より大幅に増加し、生産量については前期並みの354万馬力となり、工事量を確保した状態で推移しました。

産業機械については、円安基調により受注環境は好転し、トルコを始めとする海外製油所向け往復動圧縮機を中心に受注高は増加しました。また、プロセス機器(圧力容器)の生産拠点としてベトナムに合併会社を設立したほか、小型の往復動圧縮機を得意とする(株)加地テックと資本業務提携を行い、アライアンスの推進による早期の事業拡大や最適生産体制の構築を進めています。

運搬機については、大型クレーンの引合いは国内外ともに非常に活発な状況にあり、マレーシア Westportsのボーテナー14基、トランスターナ15基の受注を始め、順調に受注を伸ばし、受注高は過去最高となりました。現在は、大分事業所において、生産能力の増強を目的とした大型設備投資を実施しています。

アフターサービスを中心とした製品ライフサイクル対応型事業および顧客問題解決型事業(LSS事業)については、提案営業の推進と海外拠点の拡充により受注活動の強化を図っており、当期は円安の影響もあり受注高、売上高ともに過去最高となりました。また海外拠点については、カタールとトルコに産業機械のアフターサービス拠点を設立いたしました。

### 2014年度の業績

#### 受注高は大幅増加、営業利益も伸長

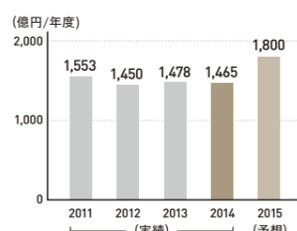
受注高は、コンテナクレーン、船用ディーゼル機関、各種産業用機械及びアフターサービス事業などにより、前期と比べ523億78百万円増加(+40.1%)の1,831億7百万円となりました。売上高はこれらの製品・事業により前期と比べ13億1百万円減少(△0.9%)の1,465億1百万円に、営業利益はアフターサービス事業や産業機械の好調などにより前期と比べ16億32百万円増加(+20.0%)の98億14百万円となりました。

### 財務ハイライト

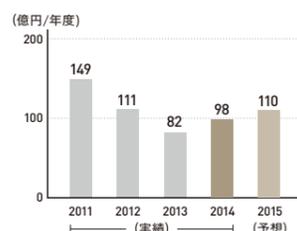
#### 受注高



#### 売上高



#### 営業利益



## Future

### ディーゼル

#### 環境規制対応製品のビジネス拡大を図る

今後の船用エンジンマーケットにおけるポイントは、低燃費と環境規制対応です。省エネ、環境規制対応エンジンに対する関心は高く、いかに高性能なエンジンを適正な価格で提供できるかがポイントになります。他社より先行している天然ガスやエタンを燃料とする電子制御式ガスインジェクションディーゼルエンジン(ME-GI)やメタノールなどを燃料とするME-LGI機関を始め、新技術を加えたエンジンをいち早く市場に投入し、確実に実績を積み上げていきます。

さらに、今後は、エンジン単体のみではなく、エンジンを中心とした推進システム全体の効率(性能)が評価される時代となります。エンジン単体販売だけでなく、省エネ装置との組み合わせやME-GIならば燃料供給システム(FGSS:Fuel Gas Supply System)も含めたパッケージでの提供も考え、魅力ある推進システムの提供を目指します。

### 運搬機

#### 生産能力を上げ、さらなる販路拡大へ

東南アジアを中心に引き続き旺盛な需要があり、多くの引き合いが来ています。これは、新設のコンテナターミナル建設によるもの、及び1980~90年代のコンテナ輸送黎明期に大量に納入されたコンテナクレーンの代替需要期に入っている為で、今後10年先までは代替需要だけで年間ボーテナー200基、トランスターナ300基程度の需要の見通しがついています。国内市場についても2020年のオリンピックに向けて港湾整備も急ピッチに進むと予想され、世界市場と同様に代替需要をベースとして引き続き堅調な需要があると予想されます。

### 産業機械

#### 水素ステーション分野へ参入

小型の往復動圧縮機を得意とする(株)加地テックとの資本業務提携により、小型圧縮機分野に参入します。両社でシナジーを追求し、石油精製および石油化学向け小型圧縮機の商域拡大、石油精製および石油化学以外の水素ステーション用圧縮機等の売り上げ拡大を進めていきます。



電子制御式ガスインジェクションディーゼルエンジン「ME-GI」



岸壁用ガントリークレーン「ボーテナー」



往復動圧縮機